



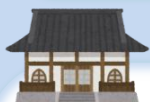
新しい年の始まりに、1年の抱負や幸せを願って、お寺や神社に参拝する初詣は、欠かせない行事の一つです。今回は覚えておきたい『お寺と神社の参拝のマナー』についてご紹介いたします。



お寺と神社の違い

仏さまをお祀りし、仏教の教えを説く僧侶が住まうところが『お寺』です。仏教は古代インドで生まれた釈迦(ブツダ)を開祖とする宗教で、大陸から中国を経由し、6世紀ごろ日本に伝来しました。

一方、神道の神さまを祀る社が『神社』です。神道は日本古来の宗教で、教祖や経典を持たず八百万の神を崇拝しています。奈良時代、神道と仏教が密接に結びつき「神仏習合」と呼ばれる宗教の形態が生まれ広がっていきます。明治元年、明治政府が「神仏分離令」を発したことにより、お寺と神社は現在のように区別されるようになりましたが、今でも鳥居が残るお寺や、神社をお守りするお寺も数多く残っています。全国各地にある『神宮寺』は、元々お寺と神社と一緒に共存していた頃の名残です。



【お寺】参拝マナー

- 1 山門の前で、合掌と一礼し境内に入る
山門をくぐるときは敷居を踏まないように注意。
- 2 手水を行う
【①左手 → ②右手 → ③口の順】に清めます。
右手に柄杓を取って左手を清める。次に右手も清める。左手に水を取り、口をすすぐ。使った柄杓を立てて柄の部分に水を流してすすぐ。
- 3 お賽銭を入れ、礼拝
胸の前で静かに手を合わせて一礼する。
<本堂に入る場合>
正面からご本尊に向き合い、姿勢を正して合掌。焼香台がある場合は、焼香を行う。献灯台がある場合は、ろうそくで線香に火をつけ香炉に立てる、または寝かせる。静かに両手を合わせる。
(宗派によって違いあり)
- 4 山門を出るときも本堂に向かって合掌し、一礼

【神社】参拝マナー



- 1 鳥居の前で一礼をして、境内に入る
参道の中央は、神さまの通り道とされているため、端を通る。
- 2 手水を行う(お寺の手水と同じ)
- 3 お賽銭を入れ、拝礼
【①二礼 → ②二拍手 → ③一礼】
二回深くお辞儀をしてから拍手を二度打つ。もう一度軽く一礼をする。
鈴がある場合は、賽銭を入れる前に鳴らす。鈴を鳴らすのは神さまへの合図といわれている。
- 4 鳥居を出たら最後に一礼



なぜ礼や拍手が二回なの？

陰と陽の二対を表すとともに、古代中国より尊いとされている奇数でなく、二という偶数を用いることで人間が祈りに来たと伝えるためといわれている。

参考文献:日本人のしきたり、日本人 数のしきたり(著:飯倉晴武)



大切なのは、参拝するときの気持ちです。感謝を胸に、清らかな心で参拝しましょう！



マナーインストラクター部HPです。ぜひご覧ください。
<https://www.nakakita-manner.com/>

次回は4月発行予定です
お楽しみに♪

